



建築概要  
 所在地 長野県茅野市(蓼科)  
 用途 専用住宅  
 設計監理 ㈱タジェール 中村雅子 荒井雄大  
 構造設計 ㈱山田構造設計事務所 山田泰範  
 造園設計 TOKUZO 徳光充子  
 施工 (有)フジ工務店  
 構造規模 木造軸組2階建(寒冷地仕様/外断熱)  
 敷地面積 1207.98㎡ (365.41坪)  
 建築面積 142.15㎡ (43.00坪)  
 延床面積 108.25㎡ (32.74坪)  
 設計期間 2012年9月～2013年7月  
 施工期間 2013年8月～2015年7月  
 Photo Nacása & Partners



## 建築作品部門

## その他

森林・水・生態系などの自然資源の保全と活用、建築物の低炭素化推進

## 長野県茅野市(蓼科)

## Villa Tateshina

東京に在住の50代ご夫妻とわんこ達の定年後の移住を視野に入れた住宅です。零下20度になる蓼科では積雪だけでなく、寒冷地特有の性能が要求されます。基礎から壁、屋根まで建物全体を断熱材で包む外断熱、開口部は高断熱複層サッシとして冬の暖房負荷を低減しています。1階は全面蓄熱式床暖房として無駄なく空間全体を暖めます。施主ご夫妻は吉村順三さんのような、上質だが、堅苦しくない、自然体の暖かい家を希望されていました。その吉村ディテールに習い“開口部・軒先・階段”を丁寧に設計しました。特に階段は折曲りにも関わらず桁はまっすぐの珍しい形となりました。材料は地元産の唐松を多く使い、特に外壁では1本で張れるよう階高や開口部を検討しました。何故なら、木のジョイントが寒冷地では脆弱になるケースがありますので。周りのすばらしい山並みに調和するよう2寸勾配の緩い片流れ屋根で重心の低いプロポーションのElevationとなりました。屋根を緩くすることで、足場を架けずに屋根で歩け、積雪時は雪下ろし、眺望や星空を堪能できるルーフトラスとしても機能します。『東京よりも暖かくて部屋から眺める雪景色が最高!』と、寒がりの奥様がおっしゃった言葉が嬉しかったです。



応募代表者  
 中村 雅子  
 株式会社 タジェール

taller  
 Architectural Interior Space Design

1960年 東京生まれ  
 1982年 「Casappo&Associates」「Plastic Studio&Associates」等のインテリアデザイン事務所に勤務  
 1989年 中村雅子デザイン事務所設立 (港区 元麻布)  
 1994年 バルセロナへ移住 建築取材記事などを寄稿  
 1997年 帰国後 杉並区浜田山にて活動  
 2007年 株式会社タジェール設立 代表取締役就任 現在に至る